

12月教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和6年12月18日（水） 午後2時00分～午後2時25分
- 2 場 所 湖西市役所 市長公室
- 3 出席者 教 育 長 松山 淳
委 員 西川 倫予 山下 恵子 穴水 正哲 杉山 健
事 務 局 教 育 次 長(鈴木啓二) 教育総務課長(戸田昌宏)
学校教育課長代理(大石 誠) 幼児教育課長(岡部考伸)
スポーツ・生涯学習課長(竹中幹晴) 図書館長(菅沼 稔)
教育総務課長代理(仲本真武)
- 4 議 案 第 17 号 令和5年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書の作成及び議会提出について

午後2時00分開会

(松山教育長) 出席は5名、定足数に達しているので、令和6年12月湖西市教育委員会定例会を開会する。

(松山教育長) それでは審議にはいる。議案第17号「令和5年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書の作成及び議会提出について」、事務局の説明を求める。

(教育総務課長) 議案第17号「令和5年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書の作成及び議会提出について」、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により、令和5年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書を別冊のとおり作成し、湖西市議会に提出したいので承認を求める。令和6年12月18日提出 湖西市教育委員会 教育長 松山 淳。

「令和5年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書」は、本年9月の教育委員協議会において説明をした令和5年度点検・評価の概要に、外部評価委員会の委員からの意見を加えたものである。

9月の教育委員協議会で提示した資料への追加としては、令和5年度の決算資料であり、「広報こさい」10月15日号に掲載された市の「令和5年度決算」を転載している。令和5年度決算では、民生費、衛生費、総務費に次いで教育費が27億円で、市の歳出比でみると10.4%となっており、前年度と比較して、決算額で7.5億円増、割合で2.8%増となり大きな割合を占めている。

外部評価委員は、教育に関し学識経験を有する記載の5名の委員にお願いし、第1回外部評価委員会は、10月22日に開催し、自己点検・評価報告書の内容説明と質疑応答を行った。11月26日に開催した第2回の外部評価委員会では、各委員からの意見聴取と質疑応答を行い、意見交換を行った。いただいた意見等については、事業全体にわたるもの、個々の事業に係るものを順番に掲載しており、意見に係る報告書のページと、事業名を意見の前に括弧書きで明記し、どの事業に対する意見であるかわかるようにまとめている。

教育委員会全体にわたるものとして、市の歳出総額における教育費の重要性、また、効率的な予算執行に対しての評価をいただいた。反面、多くの事業を実施しているのに周知不足で市民に伝わっていないのではないかと指摘もいただいた。

各小学校管理運営費では、1人1台タブレットの活用実績、連絡アプリ導入による学校・保護者間の連携強化などに評価をいただくとともに、1人1台タブレットの次期更新を円滑に進めるなど、ICT支援体制の一層強化についての要望をいただいた。

小学校施設整備費では、トイレ洋式化の計画的な整備と校内設備の安全対策を望む意見があった。

教育指導関係経費では、特別支援教育推進事業及び外国人児童生徒支援事業での支援員確保、また指導資料作成事業費では、副読本や学校HPに対してご提案をいただいた。

幼稚園教育指導関係経費では、特別支援教育支援員のスキルアップや増員への要望があった。

生涯学習推進費では、学校支援本部事業のコーディネーターやわくわく子ども教室のスタッフ確保の要望、また、社会教育団体の活動についてご意見をいただいた。

保健体育総務関係経費では、ニュースポーツへの取り組み方について、また社会体育施設維持管理費では、計画的な施設整備について意見、要望をいただいた。

文化振興関係経費では、市民への文化芸術鑑賞機会の提供とフルコンサートピアノの活用を望む意見をいただいた。

図書館運営事業については、学校図書室との連携・支援の充実、電子図書館の普及、外国籍の方への支援を望む意見をいただいた。

総合評価としては、外部評価委員からいただいた意見を尊重しながら、第2次湖西市教育振興基本計画の基本理念である「未来の湖西を創る“ひと”づくり」に邁進していくとし、教育委員会の事務内容の点検と積極的な情報公開・説明責任に努めるこ

ととしてまとめ、教育長名で報告する。

この令和5年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書は、令和5年度主要施策成果の説明書を基に作成した「資料編」と一緒に、12月中に市議会に提出する予定であり、併せて、市のウェブサイト公表する。

(松山教育長) 質疑のある方は発言をするように。

(西川委員) 各小学校管理運営費及び小学校施設管理運営費ですが、1人1台タブレットは今もずっと続けてるとは思うんですけども、今後もこれは必要であってさらに活用できるようにと進めていただけていただけのものだと思いますけども、例えば欠席連絡とかそういったものを、これを使うことによって実際に先生方の負担軽減はどのぐらい変わったかっていう、そういったものは何かでているのでしょうか。

(教育総務課長) 今までは朝の欠席連絡も教職員が電話対応していたが、アプリで連絡がいくということ、非常に簡単になったということ、保護者間と学校間とのやりとりが密になったっていうことで、それが先生方の負担軽減に繋がっており、去年の総合教育会議でも報告したが非常に良い効果がある。併せて欠席連絡だけでなく、学校からの案内、一斉通知にも活用され、アプリを使うことに紙代、印刷する業務の軽減にもつながっている。今後の課題としては活用のルール作りが必要である。

(西川委員) 実際にはもう紙媒体のお便りはもう止めてるっていうことでしょうか、それとも今後やめていく方向なのか、それとも必要じゃないっていう保護者の方にはもうしないのか、その辺はいかがなんでしょうか。

(学校教育課長代理) だいぶペーパーレスが進んでいる。必要に応じて学校で判断をしているが、だいぶ紙の配布ではなく連絡アプリを使うことが進んでいると思う。

(西川委員) こういったことって担当する先生であったりとか、学校間での差というか、進む学校と進まない学校の差が生まれてくると、同じく湖西市の中でそれはどうなのかなってのが気になるころなのですが、その辺はいかがでしょう。

(学校教育課長代理) このアプリを使って保護者の方に連絡する係は、主に教務主任、主幹教諭、教頭であるが、各校の教頭、主幹教諭、教務主任の間でも連携をとって、どのようなものを送っているのか、情報交換は常にしていることから、その差がないよう気にかけているところである。

(西川委員) もう一つよろしいですか、このタブレットについては今年の総合教育会議のときにも気になったので質問させていただいた内容なんですけど、今はまだ更新とかいろんなことに対し、国などから補助が出ている状態だと思うんですけど、この先もずっと続いていくことは考えられないので、補助がでなくなった場合、市の財源だけで更新を担っていけるのか、それとも家にある自分の端末を持ってきて学校での教育に使っていくのかってことが、今後先の話ではあると思うんですけども、気になるところですので、そういった部分も継続的に進めていただけてありがたいです。

(教育総務課長) とりあえず来年度に更新の時期を迎えるということで、国からの補助はある。今後の更新の計画と、そこにかかる費用的な部分については、予算措置を考えていき、議会に上程をしていきたいと考えている。

(山下委員) 1人1台タブレットについてですが、今持ち帰りがどの学年から毎日持ち帰りになっているか、毎日持ち帰る学年は何年生なのか、その辺りはどうなっていますか。

(松山教育長) 市で統一したものはないため、各校での状況ということになる。

(学校教育課長代理) 例えば岡崎小学校では、早い段階から毎日持ち帰りをしている状況である。学校によっては、週末に持ち帰り土日の間に学習で使ったりだとか、調べものを使ったりというところで、学校によって差があるというか、学校によって扱いを変えてるところである。だいぶ定着していることから、いずれもっと家に持って帰って活用する機会が増えると思う。

(山下委員) 学年それぞれということですかよね。

(学校教育課長代理) はい、入学したての1年生などは、なかなか難しいところもある。慣れてくると低学年でも扱いがうまくなってくると思うので、そればかりではないが、触れる機会を多くすれば、活用する時間は多くなるのと思う。

(杉山委員) 各小学校教育振興費と各中学校教育振興費が昨年度より実現度が下がっていて、財政上の問題もありっていう形で書いてあるんですけど、物価高騰の影響とかそういう外部的要因や突発的な要因とかで達成が下がったのか、理由を知りたいんですけど、わかる範囲で教えていただければと思います。

(教育総務課長) 予算的には同程度あるいは若干増ぐらいで確保できておりますが、この指標は購入図書冊数で比較していることであるから、1冊の単価が高いと冊数的には充実できないってところがあるため、このような評価となる。

(杉山委員) 子供たちに影響があるとかそういう意味合いではないということですね。

(教育総務課長) 図書の選定についても、学校にて選書していることから、内容や質は問題はありません。

(西川委員) 保健体育総務関係経費のニュースポーツについて、令和5年度の参加人数がここまで減ってしまったのは、何か理由というか要因がやっぱりあったんでしょうか。

(スポーツ・生涯学習課長) 以前は平日の夜に実施していたものもあり、それがなくなり回数が減ったことが大きな要因だと思っている。令和6年度は回数を絞って休日開催する形で実施することにより、6年度は持ち直している状況である。

(松山教育長) それでは、議案第17号「令和5年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書の作成及び議会提出について」を採決を行うがよろしいか。本案を原案のとおり承認する方の挙手を求める。

(挙手全員)

(松山教育長) 挙手全員である。よって、議案第17号「令和5年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書の作成及び議会提出について」は原案のとおり承認された。

(松山教育長) 本日の案件については、これをもって全て終了した。
これにて、令和6年12月湖西市教育委員会定例会を閉会する。

閉 会 午後2時25分終了